

SDGsに貢献する持続可能な都市うつのみやの構築

栃木県宇都宮市（2019年度選定）

1. 地域の特徴と課題及び目標	<ul style="list-style-type: none">・東北新幹線、東北自動車道が通る北関東の中核都市であり、現在の人口は51万人であるが、今後も人口減少に転じていく見込みである。・これからのまちづくりを進めるに当たって、「次代を築く人づくり」や「骨格の強い都市の形成」などの重点課題の解決と「経済・社会・環境の統合的向上」を図るため、「女性の雇用創出・就労の促進」、「LRTを軸とした交通ネットワークの充実」や「もったいない運動による人づくり」などに取り組む。	2. 関連するゴール 
3. 取組の概要 (三側面をつなぐ統合的取組概要を含む)	「第6次宇都宮市総合計画」に掲げた6つの未来都市（子育て・教育の未来都市、健康・福祉の未来都市、安全・安心の未来都市、魅力創造・交流の未来都市、産業・環境の未来都市、交通の未来都市）の実現に向けた取組を着実に進めるとともに、宇都宮市SDGs人づくりプラットフォームの設立や地域新電力会社による地域課題の解決（シュタットベルケの構築）などに取り組む。	
4. 自治体SDGs推進等に向けた取組	6. 取組成果	
<p>【再生可能エネルギーの地産地消の推進】</p> <ul style="list-style-type: none">・地域新電力会社（宇都宮ライトパワー）の設立・再生可能エネルギーを市有施設へ供給する小売電気事業の開始 <p>【地域連携ICカードの導入と公共交通の利用促進】</p> <ul style="list-style-type: none">・地域連携ICカード「totra」の導入・バスの上限運賃制度の導入 <p>【SDGs人づくりプラットフォームによる理解促進・パートナーシップの基盤強化】</p> <ul style="list-style-type: none">・「宇都宮市SDGs人づくりプラットフォーム」により会員と連携した普及啓発を実施	<p>【再生可能エネルギーの地産地消の推進】</p> <p>2021年7月、地域新電力会社（宇都宮ライトパワー）を設立し、本市のごみ焼却施設「クリーンパーク茂原」のバイオマス発電等による電気を、市有施設の一部に供給する「小売電気事業」を開始した。</p> <p>【地域連携ICカードの導入と公共交通の利用促進】</p> <p>Suicaの機能を持ちつつ、宇都宮地域のLRTやバスが利用できる「地域連携ICカード」を全国で初めて導入し、地域独自サービスとしてポイントサービスやバスの上限運賃制度のほか、地域内交通と路線バスの乗り継ぎ割引制度を開始した。さらに、公共交通利用促進パンフレットを製作し全戸配布を行った。</p> <p>【SDGs人づくりプラットフォームによる理解促進・パートナーシップの基盤強化】</p> <ul style="list-style-type: none">・SDGsの認知度：83.4%（令和5年12月 市政世論調査）・会員数：305団体（令和6年9月末現在）	
5. 取組推進の工夫	7. 今後の展開策	
宇都宮市が策定・管理する多種多様な計画へSDGsの視点を適切に反映させていくため、市長をトップとし、全部局長で構成する「うつのみやSDGs推進本部」を設立・運営することで、全庁的な理解の促進とSDGsに係る政策・活動の方向性について協議・決定を行っている。	<ul style="list-style-type: none">・2050年カーボンニュートラル実現に向けた、市民・事業者・行政が丸となって脱炭素化に取り組むための長期計画「宇都宮市カーボンニュートラルロードマップ」の推進・公共交通利用促進キャンペーン「MOVE NEXT UTSUNOMIYA」の展開・「SDGs人づくりプラットフォーム」による市民・事業者のSDGsの実践を促すための情報発信、パートナーシップの強化	
8. 他地域への展開状況 （普及効果）	<ul style="list-style-type: none">・視察受入（甲府市、川口市等 9団体 52名）・フォーラム等への参加（7件）・専門誌等への寄稿（4件）・本市をホームタウンとするプロスポーツチームのホームゲームや本市開催の国際スポーツ大会等に合わせ、取組を地域内外に発信	